

林業福島

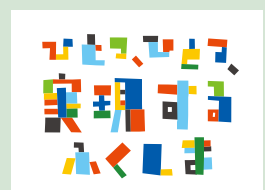
No. 742

題字 公益社団法人福島県森林・林業・緑化協会
会長 小檜山善継



6

2026



監修 ■ 福島県農林水産部
表紙の写真 ■ 植林地を守る



福島は関東なのか東北なのか？

福島森林管理署長
添 谷 稔

今年の四月より福島森林管理署に着任しました添谷と申します。着任直後に皆様に挨拶回りに伺った際、なぜ福島が「関東」森林管理局に属するのか？というご質問を多くいただきました。恥ずかしながらその場ではつきりお答えできませんでしたので、改めて、組織の変遷を当時の勅令を検索して紐解いてみました。

明治十九年に「大小林区署管制」が公布され、今という森林管理局・署にあたる大林区署、小林区署が全国に設置されました。しかし、この時にはまだ全国の国有林（官林）の中央政府直轄化を進めていた最中で、北海道、沖縄を除く官林直轄化が終了したのは明治三十二年、この年に福島県内の官林も直轄化され^①、栃木大林区署福島出張所が設置されました^②。

その後、明治三〇年に「林区署管制」が新たに公布され、福島に単独で「福島大林区署」が設置されています。しかし、六年後の明治三十六年には福島大林区署は宮城大林区署に統合（福島+山形+宮城）され、さらに大正二年の組織再編で宮城大林区署のうち、福島県が東京大林区署へと移管され、現在の関東森林管理局の原型となる「関東地方+山梨+静岡+福島+新潟」に長野県を加えた形となり、一府十一県の大所帯となりました。

その後、大正十三年に東京大林区署が東京営林局となった後、戦時中の昭和十九年に東京営林局の機能を疎開させるため前橋に東京営林局が移転し、戦後の「前橋営林局」設置（昭和二十四年）につながり、そして、平成十年の国有林野事業の抜本的改革時の組織再編で、前橋、東京両営林局が統合し「関東森林管理局」となり現在に至ります。

以上、福島県が所属する地方機関（大林区署・営林局・森林管理局）の変遷を見ると、栃木（明治二二）→福島（明治三〇年）→宮城（明治三十六）→東京（大正二年）→前橋（昭和二十四年）→関東（平成十年）となり、宮城大林区署の再編（明治三十六年）を除けば、八溝山地に象徴されるように北関東との一体性を終始重視してきたことがうかがえます。また、東北地方の大林区署が近隣の仙台でなく、遠隔地の秋田、青森に置かれたことも影響しているかもしれません。なお、余談ですが、昭和十九年の東京営林局の疎開先には、福島県も候補になっていたとの話もあり、もし福島に疎開していたら……？と思わず想像してしまいます。

森林・林業以外に目を向けると、国の出先機関の多くが福島を「東北局」の管内とし、知事会も北海道東北知事会に属する一方、「広域関東圏」には福島が含まれるなど、全国第三位の面積で、東北と関東のつながりを併せ持つ福島ならではの事例は様々あることも知りました。広大で多様な福島に着任し、今まで以上に広い視野をもって業務に臨んでいきたいと思っています。

参考文献

- (1) 荻野敏雄（2008）国有林経営の研究（㈱日本林業調査会発行）17―19
福島森林管理署（発行年不詳）福島森林管理署のあらまし

《も く じ》

とびら

福島は関東なのか東北なのか？

福島森林管理署長 添 谷 稔…… 1

福島県の山地災害…………… 2

林業研究センターだより…………… 3～4

森林土木工事・緑化活動の優良団体・事業者
等が決定…………… 5

雇用管理研修会「林業現場のための身体づく

り講座」を開催しました…………… 6

林業アカデミーふくしま研修日誌①…………… 7

普及指導員通信…………… 8

森林管理署メモ…………… 9

林災防だより…………… 10

木の文化を育む⑧…………… 11

木材市況・ふくしま東西南北…………… 12

はなしのひろば第157話・5ヶ年分の編集後記… 13

福島県の山地災害

福島県森林保全課

○山地災害について

近年、地球温暖化や世界的な気候変動によりゲリラ豪雨や線状降水帯と称される局所的な集中豪雨が日本全国で多発しており、県内でも度々発生しています。

このような短時間で激しい雨が山間部で降ると、多量の雨水により斜面の保持が難しくなり、山崩れや土石流などの山地災害の発生や、人的・物的被害のリスクが高まります。

こうした状況を踏まえ、国・県・市町村では毎年5月20日から6月30日までの期間を「山地災害防止キャンペーン」月間と定め、ポスターの掲示や山地災害危険地区等のホームページへの掲載などを通じて、山地災害に対しての注意喚起を行っています。

また、県内の山地災害に関する情報収集について、「山地防災ヘルパー」の認定を行うとともに講習会などを行い、パトロール活動の支援を行っています。

○福島県の地形・地質・自然条件

会津地方は奥羽山脈や越後山脈の広大な山地帯で急峻な山々が連なり、活火山地域特有の地質となっています。一方、中通りから浜通りにかけては阿武隈高地があり、花崗岩マサ土地帯で表層崩壊が起こりやすいなどの特徴があります。

自然条件としては、福島県（会津若松、福島、小名浜の各観測所過去30年〔1991年～2020年〕）の年間平均降水量は約1,300ミリ（日本の平均1,700ミリ）と全国平均を下回るものの、梅雨前線や台風などによる局地的な集中豪雨の増加に加え、環太平洋地震地帯の中に位置することにより地震や火山活動が活発で、山崩れや土石流、地すべりなどの山地災害の危険を常に抱えています。

加えて、福島県内には複数の断層が分布しており、これらの断層帯は山間部や急傾斜地と隣接することが多く、地震に伴い地盤の緩みを生じさせ、土砂災害の引き金となるおそれもあります。

そのため、梅雨期や台風時の局地的な集中豪雨によって、どこでも大きな被害を受ける可能性があることから、地震と豪雨の複合的な災害を想定した備えを含め、日頃から土砂災害への対策を講じておくことが重要です。

○危険箇所を知ろう！

災害に備えるためお住まいの地域で山地災害の恐れのある箇所がどこにあるか知っておく必要があります。

福島県では山腹崩壊や崩壊した土砂の流出などの発生又はその危険があり、人家・公共施設等に直接被害を及ぼす恐れのある地区を調査し、「山地災害危険地区」としてお知らせしています。身近に危険な箇所がないか、あらかじめ確認しておきましょう。

○気象情報を確認しよう！



令和8年5月から気象警報等が改正され、防災情報が5段階の警戒レベルで発令されるようになり、避難の判断がしやすくなりました。警戒レベルごとに求められる対応（高齢者等の避難、全員避難、緊急安全確保など）が異なるため、あらかじめ、気象庁のホームページ等で内容を確認しておきましょう。

また、福島県では令和6年3月から「福島県防災アプリ」を無料で配信しており、気象警報や避難指示、ハザードマップ、マイ避難経路など様々な機能を利用できますので、災害時の備えとしてインストールすることをお勧めします。



（福島県森林計画課ホームページ森林情報発信システム「ふくしま森まっぷ」参照）
<https://f-mori-map.maps.arcgis.com/home/index.html>

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル1	早期注意報			

林業研究センターだより

令和七年度の 主な研究成果



震災後再整備した海岸防災林

福島県林業研究センター

1 はじめに

林業研究センターでは、毎年の研究成果を一般の方々にも分かりやすくまとめて、ホームページに公表しています。令和七年度は普及の参考となる「参考となる成果」を三件、放射能対策支援に活用できる「放射線関連支援技術情報」を六件報告しました。以下に成果の概要をご紹介します。

2 参考となる成果

(1) 高解像度衛星画像から算出したNDVIによる海岸防災林マツの生育状況把握

福島県の海岸防災林は東日本大震災で甚大な被害を受け、再整備を実

施してきました。令和七年度には約六二〇鈔の再整備がほぼ完了し、今後は機能を適切に発揮させるための管理が必要です。例えば、成長により混み合ってきた箇所では間伐等の本数調整が、生育不良の箇所では規模の把握と対応の判断が求められます。管理のためにはまず生育状況の把握が必要ですが、対象面積が広大であるため、多大な労力を要しています。そこで、より効率的な手法として、高解像度衛星画像から算出したNDVI値（植生の被覆率や活性度を示す指標）の利用を検討しました。垣根で区切られた区画毎のNDVI値の平均値とGoogle Earthで確認できる生育状況の関係を確認した結果、NDVI平均

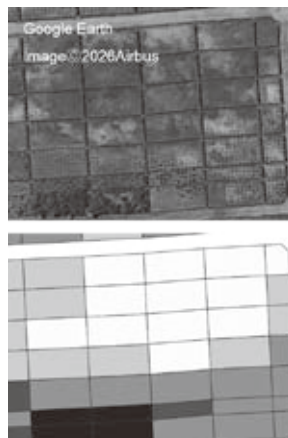


図-1
生育状況(上)とNDVI
平均値(下)の比較
※6～8年生

値が低い区画では活着不良による裸地や生育不良により樹冠が小さい様子が認められました(図-1)。この手法が利用できれば、より効率的に生育状況を把握できる可能性があります。

(2) クロモジにおける年枝別の精油分布

これまでの研究により、クロモジに含まれる精油成分の多くは、枝葉に存在していることが明らかとなりましたが、枝葉における詳細な精油分布は不明でした。そこで、枝葉を年枝別に分けて精油抽出を行うことで、枝葉における精油の分布を調査しました。その結果、精油の多くは当年枝および前年枝といった枝の先端に多く分布し、そこから枝齢が進

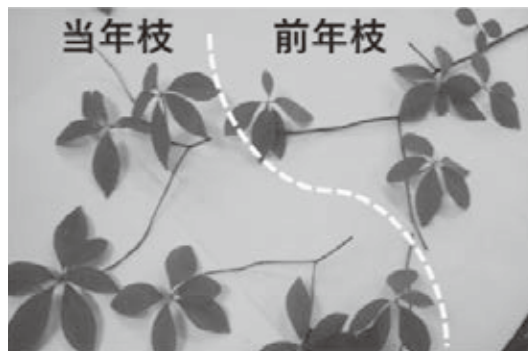


図-2 クロモジの前年枝と当年枝

むにつれて低下していることが分かりました(図-2)。この結果から、より効率的に精油を得る枝葉採取方法の検討が可能となり、クロモジ資源の持続的利用につながることを期待されます。



ふくしま再造林
未来へつなぐ希望の森林づくり

(3) 応力波伝播法を用いた県産大断面スギ材の内部割れ推定

スギ材の大径化が進む中、その活用法の一つとして大断面構造材への利用が期待されています。しかし、大断面材は人工乾燥時に内部割れが発生しやすいことが課題となってい

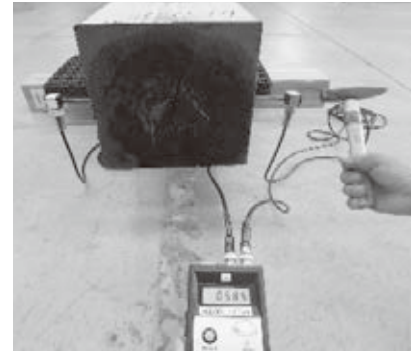


図-3 スギ大断面材の応力波測定の様子

ました。そこで、内部割れを非破壊で把握する方法について検討しました。既報の手法を基に、応力波測定を大断面構造材に適用しました。その結果、大断面構造材においても応力波測定により内部割れ推定が可能であることが示唆されました。

3 放射線関連支援技術情報

(1) きのご原木に利用するコナラに関する調査

コナラの樹皮表面にはフォールアウト由来の ^{137}Cs が付着しており、きのご原木の汚染要因の一つとなっています。そのため外部汚染の残存状況を把握することは、原木の利用を判断する上で重要です。センサー内のコナラから樹皮を採取しイメージングプレートにより放射性物質の分布を測定しました。その結果、樹皮表面の溝部に放射性物質が残存して

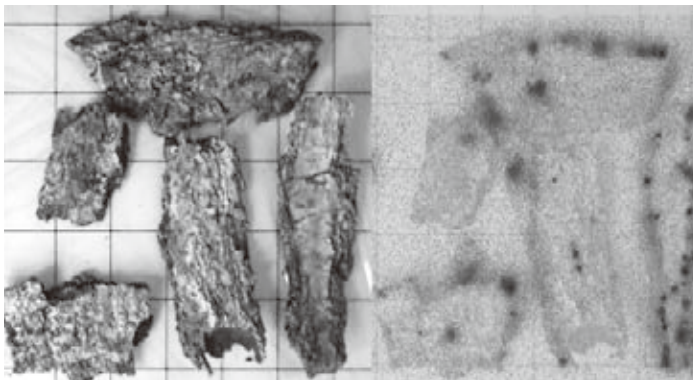


図-4 樹皮における放射性物質の分布状況
(左：写真、右：写真とイメージング画像の重ね合わせ)

いることが確認されました(図-4)。さらに、外樹皮・内樹皮の ^{137}Cs と安定同位体Csの比率を計測したところ、この比率から外部汚染の残存状況を推定できる可能性が示されました。以上の結果は、萌芽更新の必要性を判断する際の有用な参考情報となると考えられます。

また、農業分野で ^{137}Cs 吸収抑制効果が認められているカリウム施肥を、コナラ林においても実施し、その効果を検証しました。植栽三年目のコナラに硫酸K肥料を散布したところ、散布後六か月には施肥区の土壌交換

性K濃度が無施肥区に比べて上昇し、コナラの葉の ^{137}Cs 濃度は低下しました。しかし、散布後十八か月、三〇か月と時間が経つにつれて、土壌交換性K濃度は低下し、葉の ^{137}Cs 濃度は上昇する傾向が見られました。以上の結果から、K施肥はコナラへの ^{137}Cs 吸収抑制に一定の効果を示すものの、速効性の高い硫酸K肥料では効果が持続しにくいことが示唆されました。現在、緩効性のK肥料を用いることで効果をより持続させることが可能か検討を進めています。

(2) 山菜に関する調査

ワラビとタケノコについて、それぞれ一件の報告を行いました。

山菜として利用されるワラビの幼葉は、同時期であっても長さにはばらつきがあり、また、採取時期には一〜二ヶ月程度の幅があります。そこで、これらが ^{137}Cs 濃度に及ぼす影響を把握するため、ワラビの長さや採取時期と、 ^{137}Cs 濃度の関係について調査しました(図-5)。その結



図-5 長さ別ワラビ

果、ワラビが短いほど ^{137}Cs 濃度は高い傾向があり、また、採取時期が早いほど ^{137}Cs 濃度が高い傾向があることが分かりました。同一の場所で採取する場合、この結果を参考にワラビの長さや採取時期に注意することで、 ^{137}Cs 濃度の低いワラビを採取できると考えられました。

タケノコのモニタリング調査では、可食部の破壊検査が行われていました。もし、食用としない部位の ^{137}Cs 濃度から可食部の濃度を推定できれば、可食部を破壊せずに調査できる可能性ががあります。そこで、可食部と非食用部位(皮、頂端部、基部)の ^{137}Cs 濃度の関係性を調査しました(図-6)。その結果、可食部の ^{137}Cs 濃度は、皮、頂端部、基部のいずれの ^{137}Cs 濃度とも、それぞれ強い正の相関関係があることが分かりました。この結果から、非食用食用部位の ^{137}Cs 濃度から、可食部の ^{137}Cs 濃度をおおよそ推定できる可能性が示唆されました。

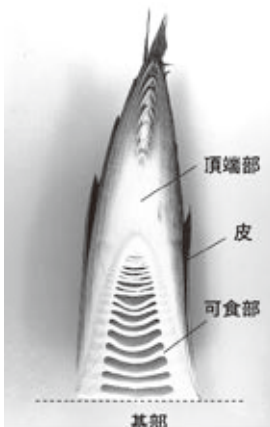


図-6 タケノコの各部位

森林土木工事・緑化活動の優良団体・事業者等が決定

(公社)福島県森林・林業・緑化協会

令和八年五月二〇日(水)、

当協会の令和八年度第一回役員会において、令和七年度施工優良森林土木工事等が決定されました。

表彰は、六月九日に開催される当協会の令和八年度通常総会の席上で行われます。

表彰の内容につきましては次のとおりです。

優良森林土木工事等表彰

優良森林土木工事等表彰は、工事施工者の技術の向上と工事の安全施工の確保及び技術者の育成を図ることを目的に毎年行っているものです。表彰の対象となる工事は、地方林業協会から推薦のあった令和七年度施工の森林土木工事で、福島県と当協会で構成する表彰審査委員会の審査により選考されます。

令和七年度については、施工技術、工事の出来ばえ、工程管理、安全管理等が優れているとして、治山事業の部で三社、林道事業の部で四社、優秀工事監督者として七人が

受賞されました。

緑化功労者

緑化功労者は、緑化活動に永年にわたって貢献し、その功績が顕著であった方を表彰するものです。福島市の「蓬萊里山ふれんず」は、自然豊かな蓬萊を次世代の子どもたちに伝えることを目的に、平成十五年に蓬萊地区住民の有志により発足しました。蓬萊東小学校北側に隣接する市有林(十二御前山)の活用方法を検討し、散策路や林内の整備、竹林の間伐、カタクリ群生地整備等を実施するとともに令和五年度には五ヶ年間の「環境管理計画」を作成し、十二御前山の整備や環境管理を実施してきました。

また、地元小学生を対象に森林環境学習を実施するなど、緑化の推進に大きな功



績を上げ、地域社会の活性化に寄与した功績により今年度受賞されました。

ふくしま森づくり大賞

ふくしま森づくり大賞は、森づくり活動や森林文化の継承を通して、緑豊かなふくしまの創造に貢献した優れた個人や団体を表彰するもので、ふくしま森づくり大賞審査会において、各市・地方緑化推進委員会、林業会議構成団体から推薦のあった方の中から選ばれます。

桑折町の半田山愛草会は、半田山の貴重な山野草の保護を主な目的に平成二八年に会員二七名で結成されました。これまで、丁寧に育て増やす活動を通じた結果、稀少なシラネアオイの群生が大幅に広がり、山の美しい景観づくりにも寄与しました。また、半田山の案内図や山開きボスターへの掲載、フォトコンテストの被写体になるなど、こうした地道な取り組みが、実を結び、山野草が見頃を迎える時期には、県内外から



1 優良森林土木工事受賞者

(1) 治山事業の部

推薦協会	工事名(地区名)	工事施工者
南 会 津	治山施設(向山地区)	山星建設(株)
相 馬	治山施設(萩平地区)	後藤建設工業(株)
い わ き	治山施設(薄磯三丁目地区)	(株)山一緑化土木

(2) 林道事業の部

推薦協会	工事名(路線名)	工事施工者
県 中	林業専用道整備事業袖山田尻線新設(袖山田尻線)	(有)高柴建設
会 津	山のみち地域づくり交付金(北塩原・磐梯(北塩原)線)	(株)高橋建設
南 会 津	森林居住環境(七ヶ岳線)	東邦土建工業(株)
双 葉	林業専用道(平沢線)	(有)河原組

2 優秀工事監督者受賞者

推薦協会	所属事業所	氏 名
県 中	(有)高柴建設	宗像 淳
会 津	(株)高橋建設	遠藤 健志
南 会 津	山星建設(株)	湯田 真善
	東邦土建工業(株)	石塚 信之
相 馬	後藤建設工業(株)	菅野 昌彦
双 葉	(有)河原組	渡部 眞吾
い わ き	(株)山一緑化土木	阿部 陽一

3 緑化功労者受賞者

市町村名	氏 名
福 島 市	蓬萊里山ふれんず

4 ふくしま森づくり大賞

表 彰 部 門	市町村名	受賞者名
森林文化振興部門	桑 折 町	半田山愛草会

訪れる多くの観光客を魅了する一助となっています。

当協会は、県土の保全、地域の安全・安心を確保するために日々研鑽を積んでいる事業者の方々の功績を広く県民

にお知らせするとともに、県民の森づくり活動への参加意識の高揚を図り、多様な主体による森づくり活動を促進するため、今後も表彰事業を続けてまいります。

雇用管理研修会

「林業現場のための身体づくり講座」を開催しました

(公社)福島県森林・林業・緑化協会
福島県林業労働力確保支援センター

令和八年二月十三日(金)、林業アカデミーふくしま大講義室を会場に、令和七年度第二回雇用管理研修会を開催しました。

本研修会は、全国森林組合連合会の委託を受けて実施している林業就業支援事業の一環として開催するもので、林業事業体における雇用管理の改善や、林業への就業促進、職場定着を図り、林業労働力の育成・確保につなげることを目的としています。

令和七年十一月に開催した第一回研修会では、「林業就業者の採用・定着のための実践的戦略」をテーマに、

特定社会保険労務士の長岡聡氏を講師に迎え、採用や人材定着に向けた取組について参加者同士のディスカッションを交えて学びました。

今回の第二回研修会は、「林業現場のための身体づくり」をテーマに、プロバレエダンサーとして国内外で活躍し、身体表現指導者として全国各地で活動している茂木恵一郎氏を講師に迎えて開催しました。

一見すると、「林業」と「バレエ」は対極にある分野のように感じられます。林業は重機やチェーンソーを扱う力仕事、バレエは芸術的な身体表現という印象がありますが、身体



講師の茂木恵一郎氏



研修会の様子



茂木氏のご指導のもとストレッチを行います



林業アカデミーふくしま研修生にも参加いただきました



茂木氏による直接指導も！

づくりや身体の使い方という観点では、実は多くの共通点があります。林業では、不安定な斜面や足場で安全に作業を行うため、下半身の筋力や体幹の安定性が重要です。チェーンソーの重量や振動に対応しながら、長時間作業を続けるためには、身体の軸を保ち、効率よく身体を使うことが求められます。

一方、バレエでも、片足立ちやジャンプ、回転などを安定して行うために、体幹や下半身の強さ、重心をコントロールする能力が必要です。故障を防ぎ、長く踊り続けるための身体のケアや、日頃からの柔軟性向上も欠かせません。

林業は「実用的な身体づくり」、バレエは「美しい動きのための身体づくり」と目的こそ異なりますが、「不安定な環境の中で軸を保ち、下半身を基盤として身体をコントロールする」という点では、本質的に近い部分があることを学ぶ機会となりました。

研修会前半では、約一時間にわたってストレッチを実施し、太ももや股

関節、腰まわりを中心に柔軟性を高める動きを学びました。疲労軽減やケガの予防につながる身体の使い方について、実践を交えながら理解を深めました。

後半の約四五分では、下半身や腹筋、背筋を中心とした筋力トレーニングを実施しました。体幹を安定させることで、不安定な足場での作業やチェーンソー操作時の負担軽減につながる動きを学び、参加者も熱心に取り組んでいました。

質疑応答では、足首やアキレス腱まわりのストレッチ方法、肩こり対策、瞬発力を高めるトレーニング方法などについて質問が寄せられ、身体づくりへの関心の高さがうかがえました。

今回の研修会で学んだ内容を日々の作業やセルフケアに取り入れ、安全で働きやすい職場づくりや労働災害の防止につなげていただきたいと思います。教わったストレッチ等内容の一部はインスタグラムでも公開しています。ぜひご活用ください。

林業アカデミーふくしま研修日誌①



○はじめに

この研修日誌では、就業前長期研修の一年間にわたる歩みを紹介していきます。

五期生が本県の林業を支える次世代の担い手として、「知識・技術・資格・インターン」の四つの柱で実践力を身につけていく姿を、毎月研修内容の紹介と研修生の感想を通してお届けします。

○四月の研修内容

●森林・林業に関する幅広い「知識」の習得

「森林・林業の基礎」

林業技術者に必要な基礎知識を習得するため、本県の森林や林業の現状などについて学びました。

「林業の仕事」

林業の現場の仕事を知らするため、間伐施業地と地拵え後のこれから植栽を行う現場を見学しました。

「林業の手道具」

林業の基本中の基本である「ナタ」や「ノコギリ」など手道具の扱い方を学びました。刃物を扱う上でのリスクアセスメントなども考えました。

「特用林産」

特用林産物の概要と現状を学ぶとともに、しいたけの種駒を原木に打ち込む作業と伏せ込みを体験しました。

「森林保護」

気象害、虫害、獣害とその対応などを学び、近年増加が懸念されるシカの樹皮剥ぎ対策を実際の現場で体験しました。

●森林施業「技術」の習得

「安全の基礎」

就業前長期研修において最も重点的に取り組んでいる『安全』について、林内作業の労災事故事例などから学びました。

「チェーンソー伐木造材技術」

特別教育後初回の講義では、チェーンソーのメンテナンスの方法やチェーンソーの持ち方、丸太を伐る時の姿勢、チェーンブレイキの徹底など細かく教えていただきました。

「周囲測量」

森林施業に欠かせない測量技術を習得するため、地図の読み方やシルバコンパスの使い方、ポケットコンパスによる測量の基本を学びました。

●資格の取得

「刈払・伐木等業務の基礎」

刈払機とチェーンソーを操作するために特別教育を受講しました。

「救命訓練」

万が一の事態に備え、適切な救命救急処置の方法を学びました。

救急法を行う上での基礎知識や心肺蘇生の方法などを身につけました。

●インターン

シップの実施等

「社会人教養（コミュニケーションスキル）」

入講して最初の講義は、コミュニケーションスキルを学びました。これから一年間ともに歩む仲間と親睦を深めつつ、人との関わり方、コミュニケーションの重要性を学びました。

「就職ガイダンス」

七月のインターンシップに向けて就職ガイダンスを行い、県内の森林組合や林業事業体仕事の種類や内容、就職先を選ぶ際の留意点などを学びました。

○研修生の感想

村越理朗（むらこしみちお）

入講式からおよそ三週間、主に座学と実習での講義が行われました。座学では林業の基礎として各用語から始まり、森林の成り立ち、木材の活用など、実習ではチェーンソーの



現場見学の様子



真っ直ぐ切る練習

資格を取得した他、測量の基本、森林保護など、幅広い内容の研修を受けました。

また、最初の週には事業体が実際に作業している現場に伺い、伐倒作業、地ごしらえの様子を見学しました。月の後半には就職ガイダンスが行われ、今後のインターンシップ、各事業体の特色、林業における就業状況などに関して具体的な説明がありました。両方とも四月の時点から来年の就業を強く意識させられる内容でした。

全般的にまだ導入の段階との印象はありましたが、講義が進み内容が高度になってきた際の基本となる部分だと思いうので、随時振り返りが必要だと感じています。今後の研修では、就業のイメージを具体的にすること重点的に取り組む分野を明確にしつつ臨んでいきたいです。

県北地域における安全・安心な栽培わらびの流通に向けた取組

福島県県北農林事務所

林業普及指導員 小 椋 絵 里

1 はじめに

管内では、放射性セシウムの影響により福島市、伊達市及び二本松市の野生のわらびが出荷制限となっています。一方、この3市については、県が出荷のための安全性を確認し生産者台帳に登録したほ場で栽培されたわらび（以下、「栽培わらび」）のみ出荷・販売することができる仕組みとなっています。本稿では、管内における栽培わらびの安全・安心な流通に向けた取組を紹介します。

2 安全・安心な流通に向けた取組

(1)栽培わらびの台帳登録

栽培わらびとして認められるためには、

- わらびのほ場が山林と明確に区分されていること
- 放射性物質吸収抑制のための施肥や刈り払い等の管理が行われていること

などの条件を満たす必要があります。そのため生産者から新たに出荷希望の連絡があった際には、現地確認を行い、管理状況の聞き取りを行います。さらに、発生したわらびの放射性セシウム濃度を測定し、安全性が確認された場合に、生産者台帳に登録されます。

わらびは収穫物が軽く、管理作業も比較的少ないため、高齢者でも取り組みやすい作物です。そのため、毎年、新たに栽培をはじめの方が一定数います。令和7年度末時点での台帳登録数は、福島市56ほ場、伊達市45ほ場、二本松市43ほ場となっており、私が担当となった令和5年度からの3年間では、新たに福島市11ほ場、伊達市7ほ場、二本松市6ほ場を台帳登録しました。



栽培わらびのほ場の様子

(2)モニタリング検査、生産者番号等の表示

毎年、二本松市では抽出により1～3名の生産者に、栽培わらびの出荷制限を解除した福島市及び伊達市では生産者ごとに県のモニタリング検査を受けていただき、安全性の確認を行っています。また、台帳登録後に出荷・販売する際には、未登録ほ場のわらびが流通しないよう、直売所等と連携して商品ラベルや売り場のポップ等に品目名や産地（市町村名）に加えて、「生産者氏名」及び「生産者番号」を表示していただいています。



直売所に陳列された栽培わらび

3 おわりに

春になると、地域の直売所には栽培わらびが並びます。先日訪れた直売所では、栽培わらびが1束230g、350円で販売されていました。10a当たり350kg程度の収量が見込まれることから、春先のちょっとした収入になっています。収穫時期は4月から6月頃までですが、需要が高いのは春で、ほかの園芸作物が店頭に並び始める前は特に売れ行きがいいようです。

なお、このほか管内では川俣町のわらびが出荷制限となっています。現在、川俣町における栽培わらびの出荷制限解除に向けた取組を進めており、今後も関係者と連携しながら、安全・安心な山菜の流通と地域の山菜復興に向け、取り組んでまいります。

森林管理署メモ

帰還困難区域の 森林整備再開に向けて

林野庁 関東森林管理局
福島森林再生センター



林野庁 関東森林管理局
福島森林再生センター
所長 栗田 喜 則

創生期間」に入ります。関東森林管理局では、令和八年四月一日付けで「森林放射性物質汚染対策センター」を「福島森林再生センター」に改め、磐城森林管理署内に事務所を設置しました。

福島森林再生センターの役割

当センターでは、帰還困難区域内の国有林の森林整備の再開などを通

はじめに
平成二三年に東京電力福島第一原子力発電所の事故が発生してから十五年が経過し、帰還困難区域においては、長らく森林整備が止まったままでしたが、政府の復興の基本方針（第二期復興・創生期間）以降における東日本大震災からの復興の基本方針）が令和六・七年度に変更された際、帰還困難区域を含めた森林・林業再生や森林整備に向けて取り組みむことが盛り込まれました。
東日本大震災からの復興については、令和八年度から「第三期復興・



開所式の様子（R 8. 4. 14）

じ、原子力災害被災地域の森林・林業再生に向けて取り組んでいきます。具体的には、放射性物質対策についての高度な専門性が求められる実証事業や調査事業等について、局・署及び県などとも連携しセンターが主体となって対応します。

【主な業務内容】

- ① 帰還困難区域における森林整備事業（実証含む）
- ② 放射性物質関係調査事業
- ③ 里山再生事業（民国連携）
- ④ 帰還困難区域における森林整備等の地元窓口
- ⑤ 帰還困難区域の森林整備や調査結果の情報発信

令和八年度の取組について

- ① 環境放射線モニタリング調査事業
平成二六年度から避難指示解除区域の国有林において空間線量率等の調査を継続的に実施しており、令和七年度からは、調査対象に帰還困難区域を追加して実施しています。今年度も継続して実施します。
- ② 森林整備再開に向

けた実証事業

令和七年度に、帰還困難区域において、浪江町内の国有林内に〇・一二杉の実証区域を六箇所（〇・七二杉）設定し、間伐等の実証事業を実施しました。今年度は、同様の作業について事業規模（約十杉）で実施するとともに、搬出間伐や木材利用にかかる取組も実施します。

③ 成果報告会の開催

森林作業者・木材利用者の皆様と関係者に向けて、帰還困難区域における森林整備や同区域内で伐採された木材の安全・安心にかかる情報発信の場として、成果報告会を開催します（令和九年一月下旬から二月下旬に開催予定）。

最後に

この四月からは第三期復興・創生期間がスタートしています。避難者の帰還や生活環境の整備等、これまでに進んだ取組が必要となる極めて重要な期間となっています。福島森林再生センターでは、職員一丸となって、地域の皆様のご要望に真摯に耳を傾け、関係機関や林業事業者等と力を合わせて、帰還困難区域の森林・林業の再生に向けて全力で取り組んでいきます。どうぞよろしくお願い致します。

「林一災一防一だ一より一」

林業労働災害防止協会福島県支部

令和八年度事業計画について

日頃より、当支部の運営に御支援・御協力を頂き感謝申し上げます。

当支部では、林業の労働災害防止への取り組みとして、安全衛生教育、技能講習、集団指導会等の実施や安全衛生技術情報・労働災害情報の提供などを通じて、林業の現場で労働災害防止活動が着実に実践されるよう、さまざまな事業活動を展開しています。

○令和七年度事業計画の基本方針

第十四次労働災害防止計画及び林業労働災害防止計画（二〇二三（二〇二七年）の三年目（令和七年）の県内の年間死傷者数を見ると、林業においては、四一件（内死亡二件）の発生があり令和元年～令和四年平均の三〇件と比べて増加となっています。また、木材木製品製造業においては、二六名の発生となっております。令和元年～令和四年平均で二八名と

比べて減少となっています。

現在の五カ年計画（死傷災害五割以上の減少）の目標達成のために、より確実な対策を県・林業関係団体と連携しながら取り組むこととしており、昨年度に引き続き、厚生労働省が伐木等作業における安全対策として定めた「労働安全衛生規則の一部改正」及び「チェーンソーによる伐木等作業の安全に関するガイドライン」並びに、新たな「林業・木材製造業労働災害防止規程」（令和五年十二月十一日適用）の内容を会員並びに関係林業事業体に対して周知を図るとともに、以下の事業を積極的に取り組むこととしています。

○実施事項（主たるもの）

具体的に取り組む事項は以下のとおりです。皆様の御協力を得ながら進めていく計画ですのでよろしくお願ひします。

1 安全衛生管理活動事業



伐木等特別教育（会津農林高校）



伐採現場の安全指導

先山ゼロ災推進巡回指導、安全衛生指導員等の研修会開催など。

2 労働災害防止特別活動推進事業
振動障害特殊健康診断受診の促進など。

3 安全衛生教育支援事業

林業架線作業主任者・木材加工用機械・伐木等特別教育・機械集材装置・車両系木材伐出機械・刈払機・ロープ高所作業・伐木等業務従事者安全衛生教育の実施や伐木初心者に対する伐木実技訓練、林業アカデミーふくしまに対する安全指導や実技指導等に関する協力など。

※実施日時等はホームページ（<http://www.fnmokuren.jp/>）を参照してください。

4 安全衛生対策支援事業

講師の養成、安全衛生大会、チェーンソー選手権公式審判員の養成、林業の技能検定制度技能評価者養成と検定試験予定者に対する受験対策支援、地域協議会への講師派遣など。

5 林業労働災害防止に関連する受託業務

「緑の雇用」担い手確保支援事業、林業労働安全活動促進事業、伐採安全アドバイザー事業受託など。

6 会員への補助事業等

安全装備（ヘルメット、保護衣、安全ブーツ、防振手袋）購入補助、振動障害二次健診の受診補助、木材加工用機械技能講習支援など。

木の文化を育む⁽⁸⁷⁾

建物の記憶を次の暮らしへ
手刻みの技が
受け継ぐ木の文化（有限会社 齋藤工匠店）

郡山女子大学 生活科学科 建築デザイン専攻 准教授 阿部 恵利子

〇はじめに

地域に残る建物には、長い年月の中で営まれてきた暮らしの記憶が刻まれています。それらを解体して建て替えるだけでなく、今の暮らしに合わせて改修することは、地域の資源を生かし、木造建築の価値を継承することにもつながります。

〇地域の木造建築を支える

有限会社齋藤工匠店（二本松市）は、明治十年に創業した地域に根ざした工務店です。神社仏閣や住宅建築を中心に手がけ、現在は住宅や店舗の新築、増改築、修復、リノベーションなどにも積極的に取組んでいます。五代目代表の齋藤守平さんは、東京の建設会社や設計事務所等で経験を積み、帰郷後に家業に携わってきました。先代から受け継いだ大工の技術に、設計や現場管理の経験を重ねながら、時代に合った木造建築のあり方を追求しています。

〇手刻みに受け継がれる大工の技

齋藤工匠店は、手刻みによる木材

加工を大切にしています。工場加工するプレカットが主流となる中で

手刻みを続けることは、一本一本異なる木材の特性を見極め、構造材としての使われ方や納まりを考えながら加工する大工の技術を、現場の中で継承していくことでもあります。

〇リノベーションへの転機

守平さんがリノベーションに向かう契機となったのが、自身の実家の改修でした。既存の梁を生かしながら空間を整えた「匠の家」は、RENOVATION OF THE YEAR 2023 技術賞を受賞しています。既存建物の改修は新築とは異なり、現場ごとに構造や部材の状態を読み取る力が求められます。柱や梁をどのように残し、どこに補強を加え、どの部分を新しい材と組み合わせるのか。その判断には、木造建築の構法を理解し、木材と向き合ってきた経験が活かされています。

納屋を住まいへと再生した「納屋に住む。」や、住宅の一室を書店とし

て地域に開いた「ひらく」も、それぞれRENOVATION OF THE YEAR 2024・2025を受賞しています。いずれも、既存の構造や空間を読み取り、建物の用途や可能性を広げる改修として評価されています。

〇地域の記憶を受け継ぐ店舗再生

二本松市針道地区で親しまれていた飲食店「ニューペガ」は、四代目の守司さんが建てた建物です。閉店後、オーナーからの依頼を受けて守平さんが改修を担い、現在は守平さんの弟さんが「旬菜 紫陽花」として営業しています。地域の人々が集った建物が、再び人を迎える場となり、建物に刻まれた記憶を次の世代へつないでいきます。

〇まとめ

地域に残る建物を今の暮らしに合わせる改修し、使い続けることは、木造建築の価値を受け継ぐことにつながります。手

刻みで培われた技術を古い建物の改修に生かすことで、建物に刻まれた記憶や人々の想いも、これらの暮らしの中で息づ



140余年の歴史を受け継ぐ齋藤工匠店



丁寧に手作業をする齋藤さん



After



Before

「匠の家」RENOVATION OF THE YEAR 2023 技術賞受賞

いていきます。

県森連いわき共販における木材市況（5月分）

令和8年6月1日
福島県森林組合連合会

（単位：㎡当り千円）

樹 種	素 材				摘 要
	長 級 (m)	径 級 (cm)	高 値	低 値	
ス ギ	4.00	9 下	12.0	11.5	
		10～13	14.0	13.5	
		24上	13.5	13.0	
	3.65	16上			
		24上	11.5	10.3	
	3.00	9 下	11.5	9.5	
		10～13	11.5	10.3	
		14～16	11.5	10.5	
		18～20	12.6	11.5	
		22上	13.5	12.0	
ヒノキ	4.00	10～13	9.0	8.8	
		14～16	16.5	14.0	
		18～20	16.2	15.0	
		22上	16.2	15.2	
	3.00	16～20	15.9	14.5	
アカマツ	4.80	18～22			
	4.00	18～22	10.5	10.0	
		24上	10.5	10.0	
	3.00	16～22	10.5	10.0	
		24上	10.5	10.0	

樹 種	素 材				摘 要
	長 級 (m)	径 級 (cm)	高 値	低 値	
カラマツ	4.00	12下			
		13～14			
		16上			
ク リ	4.00	16上	12.0	11.0	
	3.00	16上	11.0	10.5	
モ ミ	4.00	20上			

市況概要と市況展望	6月の共販日
販売量は1,929㎡（前年同月比75%）でした。 スギ3m、4m材とも、引き合いあり、活発に取り引きされました。先行きの状況が続くと思われませんが、梅雨、虫害等の影響が出ると思われるため、供給量に不安があります。出荷のほど、よろしくお願いいたします。	8日(月) 17日(水) 29日(月)

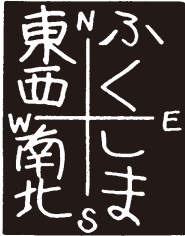
行 事 と お 知 ら せ
県森連の木材市況は、県森連のホームページでもご覧いただけます。 福島県森林組合連合会 木材市況 検索



全国的にクマの被害が報道される
 昨今、会津地域でもツキノワグマ出
 没特別注意報が四月下旬から発令さ
 れており、以前は気にも留めなかつ
 たのに最近ではビクビクしながら現
 場に赴いています。クマと相対した
 経験がある猟師から「棒切れを持つ
 たことがあります、自分は足がす
 くんでき真似できそうにありません。
 ちなみに、測量ボールでは強度が弱
 いのでダメだそうです。
 クマとの遭遇を減らす対策とし
 て、熊鈴やラジオなど音が出る物を

携帯し、予め人間の存在をクマに認
 知させるものがありますが、私が所
 持しているのは、手動式のエアホー
 ンです。六年ほど前、某通販サイト
 から約二、五〇〇円で購入しました
 （同一品は在庫切れです）。若干かさ
 ばるものの、電池がなくても使用で
 きる点と、相当大きな音が出る点が
 優れています。昨年現場に持参した
 ときには、山菜を採取していた方か
 ら「ラッパを鳴らしていた人だね」
 と言われました。クマ避け以外でも、
 森林内で同行者から離れてしまった
 時に、自分の位置を知らせることが
 できます。

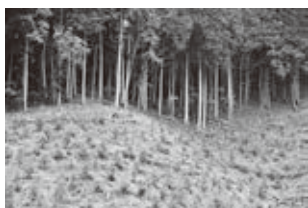
奥山に多く存在
 する県営林の管理
 を担当しています
 ので、お呼びでな
 いクマと鉢合わせ
 しないよう用心し
 ながら、今日も現
 場へ出かけてきま
 す。



私のツキノワグマ対策

福島県会津農林事務所 東 村 真太郎

表紙の写真



「植林地を守る」

第22回ふくしま森林・林業写真コンクール
入選
受賞者 西山 栄さん（いわき市）
撮影場所：田村市都路
コメント：植林木を守るための草刈りは欠かせない。

発行人
飯沼 隆

陽光社印刷株式会社
（福島市中町五番一八号県林業会館内）

編集

福島県内四森林管理署
福島県森林・林業・緑化協会
福島県木材協同組合連合会
福島県農林種苗農業協同組合
ふくしま緑の森づくり公社
森林研究整備機構福島水源林整備事務所
福島県森林・林業・緑化協会
（福島市中町五番一八号県林業会館内）

はなしの
ひろば

三つ目のありがとう

一つ目のありがとう 知人たちとの会食会場へ電車に乗ろうと無人駅のベンチに腰を掛けていると、そこに女子高校生が「この電車に乗れば福島駅までいけますか」と声をかけてきた。六月にしては、むせかえるような暑さの残る夕刻だった。一緒に電車に乗り込むと、少女は、私の隣に座り話しかけてきた。内容は、四月に高校に入学したばかりだが、隣の席のバレー部の男子学生と恋に落ちたという。彼女曰く「両思いなんです」と。続く話の中で付き合い始めてどうも二日らしいことも判明した。が、いま隣の見ず知らずの少女と恋バナをしている自分がとても不思議で、思わず自分の年齢を見失った。少女は、終始、恋をしたウキウキ感とドキドキ感で溢れていた。終着駅で降りて、頑張つてねと月並みのことを告げると、話を聞いてくれてありがとうございました、と頭を下げた。見送った少女の後ろ姿は、とびっきり弾んでいた。

二つ目のありがとう 会食後の帰り際、小五の男の子が、靴箱から知人のお父さんの靴を出して並べてあげた。知人は、さり気なく「ありがとう」と伝える。日頃のふたりの向き合い方がお互いの小さなリスペクトになり、それがありがたうの気持ちと言葉になった瞬間だった。

ゆきずりのありがたうも小さなリスペクトのありがたうも心がとても温かくなつて、私だけがとても得した気持ちになった。

もうすぐ父の日。今はもう亡き父に心からのありがたうを伝えよう。三つ目のありがたうは、私からだ。

第一五七話（都）

5ヶ年分の編集後記

「林業福島」編集発行人 飯沼 隆 宏

編集発行人を務めるようになって五年が過ぎました。

この間、思いもよらぬ方から「林業福島読んでますよ。」と仰っていただくこともあり、数多の読者の皆様に勇気づけられながら、より良い紙面を目指して取り組んでまいりました。玉稿を寄せていただいた方々の思い、編集委員の方々の御尽力に心から敬意を表し感謝申し上げます。

「林業福島」の編集発行を通じて、多くの方との出会いがありました。これまでの林業の踏襲に止まることなく新たな林業にチャレンジする若き林業経営者など、民・官・学を問わず県内各地の森で躍動する力は正に大きな希望です。公共事業に縛られるのではなく、それをも作り変えていくエンジンを時代は求めているのだと思います。

正に今、森林の所有、林業の経営について、その形を作り直す政策と経済活動が動いています。森林・林業に積極的に関わる一人一人が、あるいは、それらの人々が構成する組織が、主體的に何をめざし何を成すが問われる歴史の分岐点にいると私は見ています。

いつの間にか姿が変わったことを認識させられるのではなく、産学官の志ある者によって意図的に新たな林業構造が創られSDGsが福島の地で実践されることを祈念してペンを置きます。たいへんお世話になり、ありがとうございました。

備えのパートナー 森林保険

こんな災害からあなたの山を守ります。



1 火災

山火事で受けた損害



2 風害

暴風による根返り、幹折れなどの損害



3 水害

豪雨、洪水による埋没、水没、流失などの損害



4 雪害

大量の積雪による幹折れ、根返りなどの損害



5 干害

乾燥による枯死などの損害



6 凍害

凍結、寒風などによる枯死などの損害



7 潮害

潮風、潮水浸水などによる枯死などの損害



8 噴火災

火山噴火による焼損、幹折れ、埋没、根返りなどの損害

《保険の対象となる森林》

竹林や人手の全く入らない天然林を除き、面積が0.01ha以上であれば、樹種、林齢に加入制限はありません。

《ご相談・お申し込みは》



たもちい

◆福島県森林組合連合会
TEL024-523-0255(代)

または最寄りの森林組合



そよりん

GFB-90S

フェラーバケット
グラップル

新発売

イワフジ独自の2WAYバケットと格納式ソーユニットを装備した
道付け用オールインワンアタッチメント

For the future with forest

IWAFUJI

イワフジ工業株式会社



Website



Instagram



YouTube



(本社・工場) 岩手県奥州市水沢字桜屋敷西5-1

TEL : 0197-23-3111 FAX : 0197-25-3177

(支店) 札幌・東北・仙台・関東・中部・関西・中四国・九州



東北コピー販売

福島office 福島市御山一本松13番5号 TEL 024-559-0245
郡山office 郡山市富田町後久保60-1 TEL 024-961-1961

<https://t-copy.co.jp>



人と共に 緑と共に

For Professional



BCZ275GW-DC
排気量 25.4cc

For Professional



GZ3950EZ
排気量 39.1cc

GZ4350EZ
排気量 43.1cc

ZHM1550RR



刈幅：1500mm 出力：27.5kW

SR3100



破砕径：200mm 出力：18.4kW



ハスクバーナ・ゼノア(株) 福島県代理店

(有) うねめ林業機械

TEL(024)952-2657・FAX(024)951-7775 〒963-0211 郡山市片平町字新蟻塚108-1